３月　園だより

ふたばランド保育園

2023.3.1

牛久市中央5−5−２　　tel.029-873-5528

息子と一緒に仮面ライダーリバイスの録画を観ていると、劇中にて子を想う親が、ぼそっと『心配するのは簡単だけど、信頼するのは勇気がいるんだねぇ』のセリフ。私自身が漠然と考えていたことが、言語化されたようで、ハッとさせられました。相手を「信」じて「頼」りにするには、確かにこちら側に勇気がいるのかもしれません。「嫌われる勇気」で名が知られたアドラー心理学では、【信用は〈条件付き〉】、【信頼は〈条件がない〉】ともされています。

この世の全ての問題は人間関係に起因しているものと考えています。人と人の関わりの中で、何の条件もなく、相手のことを信じることができたらなんて良いのだろうと思います。しかし、悲しいことに現実世界においては難しいのかもしれません。それでも、乳幼児期に信頼されることを経験した子は、きっと自分のことを大切にでき、そして誰かを信頼することができるのかもしれません。

親子関係で良かれと思って、ついつい口出ししてしまうことがあります。時には、勇気を持って信頼してみることも必要なのだと思います。しかしここで大切なのは、まだ乳幼児期ということ。信頼はするけれど「大丈夫かな」と目を離さないこと、大丈夫ならそれでオッケー、そうでないなら助け舟を出す。そして、懲りずに信頼する。そんな繰り返しで、少しずつ子どもも大人も成長していくのでは、と思います。

今年一年、たくさんのご理解・ご協力を本当にありがとうございました。皆さんに信頼していただけることを目指して、今後も職員一同、引き続き精進していきます。

園長　梶原（かじわら）　秀一（ひでかず）

今月の予定

交通安全教室＜年長児のみ＞
３／１（水）

今年度最後の交通安全教室は、実際に牛久市役所まで歩きながら、交通ルールについて教えていただきます。身体で感じることで身につきますように！

保育参観
３／７（火）～１０（金）

多くのご家庭に日常保育の保育参観をご利用いただきました。今回は今年度最初で最後となってしまった全体での保育参観です。日程等は以前配布した手紙をご覧くださいね。

カレーライスの日
３／１０（金）

今年度最後のカレーライスの日です！
みんなで力を合わせておいしいカレー・サラダ・フルーチェをつくるゾー！おー！
登園時間、忘れ物にご注意くださいね。

お別れ遠足＜年長児のみ＞
３／１６（木）

最後の思い出づくりにお別れ遠足をおこないます。三日月橋～牛久観光アヤメ園まで歩いていこうと計画しています。詳しくは後日手紙を配布いたします。

誕生会
３／２２（水）

３月生まれのお友だち、お待たせしました！
たくさんみんなの誕生会をお祝いしてくれてきました。これでみんなひとつ大きくなりますよ～！

たびだちの日（卒園式）＜年長児のみ＞
３／２６（日）

第１６回目の卒園式を執り行います。いよいよぞうグループのみんなの旅立ちのときです。
年長児保護者の皆様には、後日改めて詳細をお知らせいたします。

お知らせ・お願い

★年度末～来年始めについて

令和４年度は**３月３１日（金）まで**通常登園となります。最終登園日のお迎えの際には、お子さんの着替えケースの移動などクラスの引っ越しにご協力いただきます。詳細は後日手紙にてお知らせいたします。

令和５年度は４月３日（月）から通常登園となります。**１日（土）の土曜保育は、進級のお子さん**のみの利用とさせていただきます。

★はじまりの日（入園式）

４月８日（土）１０：３０～

令和５年度入園式を執り行います。
新型コロナウイルス感染症流行以前は、全園児・全保護者が集まって入園式及び進級式をおこなっていましたが、今回も新入園の方のみとさせていただきます。
この日の土曜保育はありません。

★令和５年度保護者会総会について

こちらも開園以来感染症が流行する前までは４月２９日（昭和の日）に保育参観と保護者会総会をおこなってきました。まだ皆さん全員で集まることへの不安を解消することができず、保護者会本部役員会議事録でも記載されていた通り、総会は書面決議とさせていただきます。保育参観につきましては、５月の連休明けに予定しております。

★落とし物について

最近、駐車場での落とし物の報告が増えています。お子さんのものだけでなく、大人の方のものも多いようです。自分の後をちょっと振り返ってみても良いかもしれませんね。

「春が来た♪♫」

寒い日が続いた2月下旬、急に暖かくなった日に、子ども達と春探しの散歩に出かけました。「春を探しに行くぞ！」と言うと、子ども達から「春はどこにあるの？」。「目には見えないけど、この周りにもう来ているよ、寒い冬には、お花も、木の葉っぱもなくなり、虫も、蛙も、蛇もいなくなるけど、春になり、暖かくなると・・・」と言いかけると「お花も、木の葉っぱも、虫もでてくる。畑におじさんも」と言いました。▼さあ、お散歩に出発！歩き始めると「歩こう、歩こう、私は元気、歩くの大好き♪♪」とお散歩の歌の合唱が始まりました。我先にと、私と手をつなごうとする子ども達と、私も一緒に歌いながら行くと、先に行った子が駆け戻り「春、見つけたよ」と、小さな野の花を、小さな指先につまんで差し出しました。広い野原いっぱいに、いろんな野の花が、春の息吹を伝えていました。首から下げたポケット図鑑と、花を見比べて、「ホトケノザだ」「イヌフグリだ」「ヒメオドリコソウだ」と確かめていました。梅林に来ると、今度は「梅の小枝にウグイスが、春が来たよと歌います」と歌い出しました。うぐいすはいませんでしたが、子ども達の歌声が春を一層明るくして、確かに春は来ていました。私が梅の花に顔を近づけ「いい匂い！」と言うと、「園長ゴリラ、ズルイ、自分だけ、僕たちにも嗅がせて」と、言いました。一人一人抱き上げて、梅の花に顔を近づけてやると、目を細めて「いい匂い」と言いました。さらにしばらく行くと、土手のコンクリート擁壁に、排水口がいっぱいあるところに出ました。排水口がつまっているところを、青大将が冬眠用の穴に利用しています。暖かくなると、穴から出てきて、よく日なたぼっこをしています。穴を一つ一つ覗いていると、いました。大きな青大将が、穴から出てひなたぼっこをしていました。壁の溝に沿って、ポカポカと太陽を浴びて、なんだか気持よさそうにのびていました。子ども達はびっくりして、凝視していました。後から来た子が、騒ぎ始めると、ノロノロと穴の中に戻ってしまいました。子ども達は、交代で穴の中を覗き込み、「蛇さん、こっちを見ているよ。蛇さんも春になって出てきたね」と言いました。▼帰り道、崖登りをしたり、草滑りをしたりして遊びました。陽だまりの丘に立っていた紅白の梅が見事に咲き誇り、遠くの方まで、春の香りを放っていました。みんな鼻をクンクンさせて、目を細めていました。そして、今はもう春、園の周りには春がいっぱい。もうすぐ、にぎやかで、ちょっぴり寂しい、出会いと別れの季節です。

理事長　浅田（あさだ）　精利（きよとし）